

## 1 禁止

&lt;書き下し文・意味&gt;

&lt;句法解説&gt;

- |                       |                                                     |                                              |
|-----------------------|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| (1) <b>ほどこすことなかれ</b>  | 己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ（自分が望まないことは、人にもしてはいけない）            | 勿は、禁止の句法。「～なかれ」と読み、「～してはいけない」と訳す。            |
| (2) <b>くらふことなかれ</b>   | 子敢へて我を食らふこと無かれ（あなたはけっして私を食べてはいけません）                 | 無は、禁止の句法。「～なかれ」と読み、「～してはいけない」と訳す。            |
| (3) <b>きみわらふことなかれ</b> | 酔ひて沙場に臥す君笑ふこと莫かれ（酔って、この砂漠の戦場に寝転んでしまっても、君よ、笑ってはいけない） | 莫は、禁止の句法。「～なかれ」と読み、「～してはいけない」と訳す。            |
| (4) <b>はばかりことなかれ</b>  | 過てば即ち改むるに憚ること勿かれ（あやまちを犯したら改めることをためらってはいけない）         | 勿は、禁止の句法。「～なかれ」と読み、「～してはいけない」と訳す。            |
| (5) <b>なさざることなかれ</b>  | 善の小なるを以て為さざること勿かれ（小さな善行だからという理由でそれをやめてはいけない）        | 勿は、禁止の句法。「～なかれ」と読み、「～してはいけない」と訳す。            |
| <b>2 二重否定その1</b>      |                                                     |                                              |
| (6) <b>とほさざるなきなり</b>  | 物に於いて陥さざる無きなり（どんなものに対してでも、突き通さないことはない）              | 無[レ]不は、二重否定の句法。「～ざるなし」と読み、「～しないものはない」と訳す。    |
| (7) <b>あらざるなし</b>     | 土佐は物として有らざる無し（土佐にはどんな物質でもある）                        | 無[レ]不は、二重否定の句法。「～ざるなし」と読み、「～しないものはない」と訳す。    |
| (8) <b>しらざるものはなし</b>  | 其の親を愛するを知らざる者は無し（自分の親を愛することを知らない人間はいない）             | 無[レ]不は、二重否定の句法。「～ざるなし」と読み、「～しないものはない」と訳す。    |
| (9) <b>にくまざるにあらざる</b> | 寒きを悪まざるにあらざるなり（寒さを嫌がらないわけではない）                      | 非[レ]不は、二重否定の句法。「～ざるにあらざる」と読み、「～しないのではない」と訳す。 |
| (10) <b>あらざるはなし</b>   | 王土に非ざるは無し（王の土地でないものはない）                             | 無[レ]非は、二重否定の句法。「～にあらざるなし」と読み、「～でないものはない」と訳す。 |



## 【アプリ版のご紹介】古文・漢文

古文・漢文を学習中の中学生、高校生必見！定期試験とセンター試験に頻出の「古文単語」「古典文法」「漢文」を、完全に無料で学べるアプリが登場！！



## 【オマケの一題】

古文・漢文

助動詞「じ」に接続する用言の活用形はどれ？

(A) 未然形 (B) 連用形 (C) 終止形 (D) 連体形